

委員会視察成果報告書

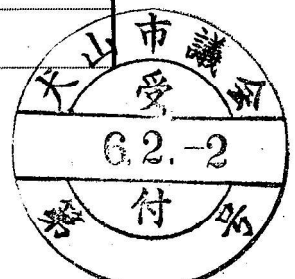
令和6年 2月 2日

犬山市議会議長

議員名 5番 小川隆広

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和6年 1月 25日(木) ～ 年 月 日() (泊 1日)
(2) 視察地	兵庫県宝塚市 (宝塚市役所)
(3) 視察の種類	常任・特別委員会 (総務 委員会)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	<p>自治体DXの先進事例を学ぶ目的で宝塚市を訪問した。</p> <p>日帰りの行程としながらも、午前中に宝塚市中心街で公共施設など観察を行い、その上で午後から宝塚市役所を訪れて、宝塚市のDXについて説明を受ける予定であった。しかし降雪、積雪の影響で往路の新幹線が徐行運転で60分ほど遅れたため、午前中に予定していた宝塚市中心部での観察は、宝塚駅前サービスステーションの位置・設置状況を確認するのみに留まり、十分な視察はできなかった。</p> <p>若干、私感を述べさせていただくと、宝塚市役所の立地条件から駅前での行政サービスの提供、資料、冊子類の提供をするサービスステーションの存在は重要であると感じた。</p> <p>午後から宝塚市役所で「自治体DXについて」企画経営部経営改革推進課から事前に作成していただいた犬山市議会視察資料に沿って導入の経緯、取り組み内容や、体制など多岐にわたって丁寧な説明をいただき、事前質問事項への回答、その後の討議で理解を深めた。</p>
(5) 犬山市に 対する提言	<p>・宝塚市のDXの取り組みからノーコードツールによる内装の重要性を感じた。また必要なツールを円滑に内装していくために、データ利活用推進担当や業務改革ワーキングチームといった体制の確立が大変重要であると感じた。犬山市がDXの取り組みを推進する際にも体制をしっかりと確立するよう提言する。なお、体制の確立にあっては適材適所での配置を考慮していただきたい。</p>



・宝塚市のDXの取り組みでは、業務改革ワーキンググループを軸として、業務相談会における各課個別業務改善の伴走支援やスキルアップ研修を実施し、全庁への活動報告や情報提供も効果的な発信を考えていたので、この点についても十分に参考にされるよう提言する。

・DX推進にあたり職員のマインドセットが一気に変わると言うことは事実上難しく、また変革を起そうとするとき、最初は失敗が多いことを説明いただいた。腰を据えて中長期に取り組まれることを期待する。

・DX推進に伴う市民・職員の理解度、情報格差の是正対策の手法について、宝塚市ではスマートフォン無料体験教室、スマホ教室とコーヒー教室のコラボなど思考を凝らした取り組みを行っていた。取り残されることなくサービスが受けられるよう、参考にしていきたい。

・宝塚DXの「大切なことは目に見えないものなんだよ」というDX推進ビジョンの隠されたメッセージに最終的に必要なものは人間本来の力であることが込められていた。DXの推進にあっては、最終的に職員の負担軽減になるものであること、市民サービスの維持・向上に資することを念頭に進められることを切に期待する。